

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【9月定例会】

施政方針及び議案審議 …… 2～3

委員会審議

総務厚生常任委員会 …… 4

文教経済常任委員会 …… 5

決算常任委員会 …… 6～7

一般質問 5人が登壇 …… 8～9

 池田町

VOL. **31**

令和6年11月1日発行



「池田カンフークラブ」は、小学生から中学生を対象に、楽しくカンフーを学べるクラブです。運動が得意でなくてもヒーローのようなカッコいいポーズを楽しく学びながら、全身を内側から鍛えることができます。仲間と一緒に自信と強さを身につけてみませんか。ぜひ体験してみてください。

9月定例会

(令和6年9月24日～27日開催)

9月定例会が9月24日から27日の4日間にわたり開催され、全議案可決されました。

また最終日には、次期の選挙管理委員4名、選挙管理委員補充員4名が決まりました。

議案第48号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 池田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例) …福井県が実施する「子だくさん ふくいプロジェクト」により、第2子への保育料が無償化されることに伴う条例改正
議案第49号	令和6年度池田町一般会計補正予算(第3号) …1億4608万3千円を追加し、予算の総額を、42億2083万1千円とする
議案第50号	令和6年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …ほっとプラザのデイサービスセンターの電気温水器、食器洗浄機の更新等のため1334万7千円を追加補正
議案第51号	令和6年度池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …基金への積み立て、前年度補助金の返還金等で、6966万3千円の追加補正
議案第52号	令和6年度池田町簡易水道事業会計補正予算(第1号) …人件費及び、公営企業会計移行による打ち切り決算に係る未収金等の確定に伴い22万4千円の追加補正
議案第53号	令和6年度池田町下水道事業会計補正予算(第1号) …人件費及び、公営企業会計移行による打ち切り決算に係る未収金等の確定に伴い80万4千円の追加補正
議案第54号	池田町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 …法律の改正に伴う条例の改正
議案第55号	池田町子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正 …各種医療保険の被保険者等の電子資格確認の仕組みが法制化されたことに伴う条例の改正
議案第56号	池田町国民健康保険条例の一部改正 …法律の改正に伴う条例の改正
議案第57号	町道路線の廃止 …新庁舎・複合施設建設事業の開発区域となるためアーティパレス2号線の廃止
議案第58号	令和5年度池田町各会計歳入歳出決算の認定 …地方自治法の規定に基づき前年度の決算の認定(P6～7にて報告)
議案第59号・60号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて …佐飛 正美氏(常安) 下道 雅治氏(寺谷)2名の任命同意
議案第61号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 財産(土地)の取得について) …新庁舎のための用地購入のための専決処分の承認

選挙管理委員(4名)

藤本 小左衛門氏(稲荷) 内藤 重美氏(定方)
永原 雄次氏(上荒谷) 梅田 忠弘氏(魚見)

選挙管理委員補充員(4名)

山口 正幸氏(水海) 小山 甚三郎氏(清水谷)
平野 政雄氏(新保) 林 光氏(池田)

町長施政方針及び諸事の報告



令和6年9月定例会

今後のまちづくりについて

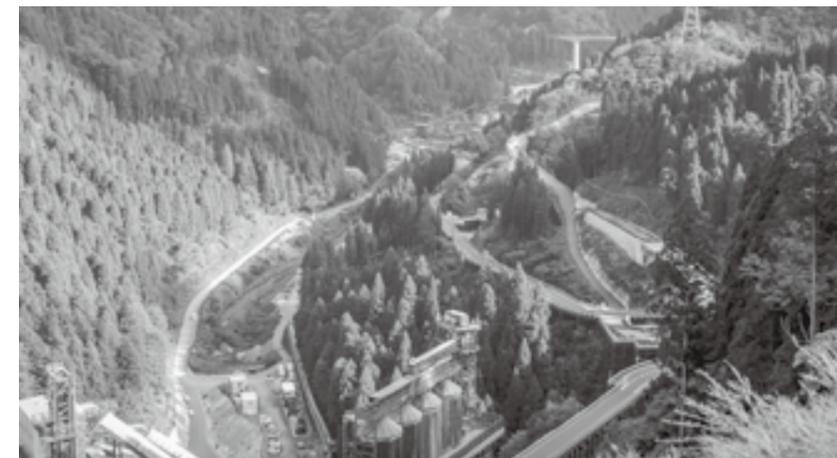
志の原点、初心に立ち、町民のご支持をお願いして参りたく、意を新たに次期町長選挙に挑むことを表明。

今後も町民の協力を頂き、広める、高める展開をしていきたい、これからは「町育て・人育て、子育て」において、町民と行政との協働連携の真価が問われる重大な時期を迎える。

「先進的で充実した小数社会構築」に向けて

- 足羽川ダム移転者の皆様の望郷の場の整備への支援
- 町内事業者の事業承継、後継者育成について育成事業の創設
- 脱炭素地域づくり促進事業として、住居に対する補助支援事業の検討
- 子育て、高齢者世帯に対する集合住宅づくり事業の構想検討
- 人材不足が懸念されている専門職人材の確保を目指した就学支援事業の検討

(本定例会：佐野副議長の一般質問より)



▲足羽川ダムの整備が進む部子川流域の風景

主な事業

- 新庁舎への冷暖房用の熱供給を行う、バイオマスボイラー建設用地の地質調査、及び、建物の基本設計費……………250万円
- 土地開発基金を廃止するための費用(土地の払い戻し)……………4248万円
- 町道稲荷月ヶ瀬線(おまつり広場交差点)の改良に向けた設計費……………450万円
- 「私のいけだ宝さがしプロジェクト」の実施経費……………196万円
- 給食センターの調理用備品の更新費……………371万円

千円以下切捨て

総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司
委員 岡村 祐 富田重弘
松井靖明 宇野邦弘

家庭の省エネに向けた断熱改修実証実験事業

池田町の住居の断熱リノベーションの実証経費で、講師を呼び試みに池田町の伝統的古民家の断熱プランを立てていただき、町内の断熱改修工事の参考モデルを作る事業。



▲省エネを目指した高断熱住宅(水海)

宇野邦弘議員 伝統的古民家断熱耐震診断業務委託費とあるが、「どこでいう伝統的古民家とは、どいう意味か。

総務財政課長 昭和30年代以降に建てられた家屋を対象に考えている。

それ以前の家は、断熱改修工事が難しいため対象としていない。

富田議員 この事業は最終的に町内の断熱改修工事の補助事業として繋げていくのか。

副町長 脱炭素社会の実現と住宅は密接なつながりがあるので、補助事業や支援制度の検討はしていきたいと考えている。

清水議員 本事業で委託業者に断熱プランを作成しレポートを作成してもらったとあるが、メリットだけではなく、デメリットも報告してもらったのか。

副町長 提案業者を正しく選択できれば、温度の問題や結露対策の大体の

方向がわかると思う。快適性の点では、メリットデメリットについても検討してもらおう。

清水議員 将来解体するときに、断熱改修した結果が環境に配慮されたものになっているか表記されていると、町民の方も取り組みやすくなるのではないかと。

副町長 産廃処理の問題について、分別解体時断熱材の種類により、解体費用は大きく異なる。断熱施工は、安いからと取り組むと結果として高くなる。解体までの提案スキームとすることもできる。

新庁舎バイオマス

岡村議員 バイオマスシステムについて、公募結果を教えてください。

副町長 福井のテラオライテック、Wbエナジー、オーストリアのボイラーを輸入している会社と、森のエネルギー研究所、中西木

材がコンソーシアムを作った会社が最終的に通った。オーストリア製のボイラーを4台入れて熱を作り、熱を水に変える装置を組み込んで温水と冷水を作るといふことになっている極めてオーソドックスなもの。

マイナ保険証

丸石議員 保険証についてマイナンバーカードを取ってマイナンバーカードを取り、またマイナンバーカードを読み取る機械を設置していない診療施設での受診方法はどのようなか。

保健福祉課長 マイナ保険証を利用申し込みしていない方については、資格確認書が送付されるので、そちらを利用してもらう。マイナ保険証を利用していただく方については資格情報のお知らせが届く。

またマイナンバーカードを読み取る機械がない診療施設の場合は、マイナ保険証と資格情報のお知らせとこのを配布するので2つを提示してもらうことになる。

水海集落定住支援住宅

富田議員 水海の町営住宅に関して、住宅の内覧希望があった場合どこに問い合わせをしたらよいのか。

総務財政課長 役場の総務財政課へお問い合わせ頂きたい。入居されている方と調整し、対応する。

清水議員 現在1件家を建てたが、残りの5件分の土地はどうするのか。

副町長 地域の担い手という側面もあり建設を希望した水海集落としてどのように連携をしていけるのかその状況を見て続けて建てるのかなど、次の検討に入りたい。

令和6年度池田町簡易水道事業会計補正予算(第1号)

佐野議員 会計の仕方が変わり4月1日に確定したが基金はどのようになったか。

町土整備課長 基金については、現金の中に引き継いでいる。

町道路線の廃止について

松井議員 新庁舎が出来、その前に新たな町道ができるのか。

町土整備課長 アーティパレス1号線と数田村中線を直角に結ぶ庁舎内の構内道路を作る予定。



▲新庁舎の敷地の一部とするため廃道となる「町道アーティパレス2号線」

文教経済常任委員会審議

委員長 松井靖明
副委員長 富田重弘
委員 清水龍司 岡村 祐
宇野一正 佐野和彦

報告案件

令和5年度一般財団法人「池田屋」事業報告及び決算について。

清水議員 冠荘の露天風呂の木部が老朽化しており、ケガをする危険があるため早急に修繕する必要があるのではないかと。

農村政策課長 池田屋の修繕費用で対応する。

令和5年度一般財団法人「池田町農業公社」事業報告及び決算について。

松井議員 酷暑の影響でウッドラボやTPAの来客数が減っているのは、暑さ対策の整備が行き届いていないからではないかと。

農村政策課長 暑さ対策では、センターハウスにエアコン設置やアドベンチャーパーク受付に冷風扇風機を設置するなど対策を行っている。

松井議員 TPA内の施設を移動する通路にミストシャワー等を設置してはどうか。

付託案件の審議

令和6年度池田町一般会計補正予算(第3号)

岡村議員 道路新設改良費の測量設計業務委託料について、他の集落も合わせた連名で役場に要望を出した箇所があると聞いているが、それ以外での予定はあるか。

町土整備課長 正式に要請を受けた地域は稲荷区だけ。その他の交差点でも見通しが悪く信号が必要とあった声があり、何らかの



▲改良計画を進めようとしている「おまつり広場交差点」

対応が必要と考えている。また、公安委員会のほうで信号機の増設は厳しいと聞いているため交差点の改良を提案している。

松井議員 下水道の検針員は業者に委託しているのか。

町土整備課長 3か所程度の検針なので集落の方が町水道と一緒に検針している。

佐野議員 あそびハウスのエアコン修繕について、真夏に故障し非常に暑かったのではないかと。このような場合は、専決処分に対応する事は出来ないのか。

農村政策課長 出来る。

決算常任委員会 質疑応答

委員長 佐野和彦 副委員長 富田重弘
委員 宇野邦弘 宇野一正 松井靖明
丸石純一 岡村 祐 清水龍司

ているのか。

総務財政課長 昨年度は水の入れ替えなどは行っているが、総量は増えていない。食品は賞味期限切れ前に、福祉施設などで使ってもらっている。

清水議員 自家発電機は4台あると聞いているが、災害時の電源確保の体制は。

総務財政課長 同報無線にも自家発電機がある。停電対策では本来72時間対応が必要だが、新庁舎建設にて対応できるようにしたい。

宇野邦弘議員 県民衛星スイセンの活用はどのようにしているのか。

副町長 違法伐採調査などに使っている。森林GISのデータと合わせて活用している。

住民税務課

丸石議員 葬斎場を建て直す計画は。

住民税務課長 検討は進めているが、他の大型事業があるため、進められる段階ではない。

宇野一正議員 コンビニ交付の利用件数はどれくらいか。

丸石議員 葬斎場を建て直す計画は。

住民税務課長 月に、町外での交付は10件ほど。役場の端末機は20件ほど利用がある。

保健福祉課

宇野邦弘議員 児童扶養手当はどれくらいになるのか。

保健福祉課長 児童手当は今年10月から法定により、18歳までの方に所得制限もなく支給されるが、それ以外に1人親家庭対象の児童扶養手当は10件ある。

富田議員 全体的に不要額が多いが、その理由は。

保健福祉課長 介護保険でも、障がい者福祉でも各種の補助申請の見込みを立てにくい為不要額が生じざるを得ない。

宇野邦弘議員 予算と補助申請額が伴わない分野もあるのではないか。

副町長 補助事業の活用が徹底と活用を進めるようにしている。不要額として決算せざるを得なくなることは理解してほしい。

丸石議員 ほっとプラザの光熱費で役場と社会福祉協議会との負担割合は。今年には社会協の負担が増えているのでは。

丸石議員 B G財団のプールの温度調整について暑すぎるの意見もあるが、学校プールとしての役割と地域の方の利用という面もあるがどう考えるのか。

教育委員

丸石議員 B G財団のプールの温度調整について暑すぎるの意見もあるが、学校プールとしての役割と地域の方の利用という面もあるがどう考えるのか。

教育委員 子どもの園の修繕費の保険適用はどうか。

教育委員会事務局代理 落雷被害を受けたエアコン修理費は全額保険給与の予定。

宇野邦弘議員 小中学生の就学援助金対象者をどのように把握し周知しているのか。

教育委員会事務局代理 学校を通じ全家庭への周知とともに、保健福祉課と連携し対象世帯の把握に努めている。

清水議員 ドメイン使用料、メールウェブサービス使用料はどういうものか。

教育委員会事務局代理 ドメイン使用料は児童生徒の端末のドメイン接続、ウェブサービスは先生用のドメインの使用料と保守料。

保健福祉課長 施設管理経費の負担は面積按分となっており、デイサービスの面積23%が社協の負担。上下水道料はそれぞれのメーター通りの負担。

松井議員 エコカー購入助成は廃止されたが、決算でまだ計上されているが。

保健福祉課長 令和5年度で事業は終了したため新規はないが、自動車税相当分を5年間助成をするということに継続者が12名いるということ。

農村政策課

岡村議員 観光情報発信コンサル業務委託料の額が大きい。どんな内容で、得たノウハウをどう活かそうとしているのか。都度高額なコンサルに委託するのはなく、専門家を職員として採用する方針はあるのか。

清水議員 コンサルは何人ぐらい受けてきたのか。

農村政策課長 東急エンジニアに委託し、観光協会のスタッフ4名がコンサルをつけ、さらにイベントごとの実施担当も一緒にやってきた。専門の方を雇用する計画はないが、蓄積してきたノウハウを業務に活かすことで能力を高めていくようにしたい。

清水議員 TPAのホームページ改修委託料がかなりの高額になっている。動画もアップされているが、委託料に動画作成費も含まれているのか。

農村政策課長 影響するページが多いので、経費がかかった。

松井議員 遊歩道の整備工事5500万円はこの整備なのか。

農村政策課長 かずら橋から国道歩道の路面の改修と、道のオアシスへの乗り入れ道の改修工事など。

丸石議員 生命に優しい米作りの審査会もなくなるのか。

農村政策課長 ほ場調査などが審査会のようなものは継続したい。

丸石議員 TPAで使用する基幹部品の交換などどこまで町が負担するのか。

副町長 基幹部品は年次計画にて当初予算で、緊急的な経費は補正で計上している。

宇野邦弘議員 コベンチャー利用者の声や、売上げ目標や実績はどうかだったのか。利用状況を継続したい。

丸石議員 共同通信でPDF AS、有機フッ素化合物の全国調査の報道があったが、町内のどこかでもされているのか。

町土整備課長 P F A S については中地区の浄水場では年1回検査している。検査結果は検出限界以下で問題ない。

町土整備課長 携帯は繋がらないが、メールなどができるWi-Fiのポイントが2か所ある。更なる対応を丹南事務所にも要請している。

富田議員 ファーマーズ除雪の効果が高く評価されている。将来的に範囲を広げる予定はないのか。

町土整備課長 令和5年度は例年に比べ積雪量が少なかつたため、平均的な池田町の積雪時においての除雪能力



▲R5年度から、農業用トラクターを活用した町道除雪「ファーマーズ除雪隊」

を見て外国製の高額な木製遊具導入は果たして妥当だったのか。

農村政策課長 売上げは当初目標の半分の743万円。小さい幼児とか小学校低学年向けのエリアとして明確になっている。子ども関係団体への働きかけなど平日利用を増やす営業力の強化も図って行きたい。

丸石議員 池田屋やTPAへの補助金が増えたのは、燃料費アップ等のためか。補助金額についての今後の方向性の検討が必要ではないか。

農村政策課長 補助金は、電気代や燃料費高騰により増えている。

副町長 補助金額は、光熱費分を戻しても、職員の給与水準をどう引き上げるのかも考えて判断していくようにしたい。

木望の森づくり課

岡村議員 里山の景観再生事業は間伐となっているが、本来の景観管理や生活環境改善をするには皆伐や択伐を進めていくべきではないか。

木望の森づくり課長 皆伐すると後の植林が求められる。そのままで林地崩壊の危険などもあり再造林が必要。住宅への日照確保を目的とした事業ではないため、山主と個人で相談いただきたい。

清水議員 ウットラボの屋根の遮熱塗装工事の進展はどうか。

木望の森づくり課長 緑越予算で今年度実施している。なお工事は10月末になるため効果の検証は来年の夏に行うこととなる。

松井議員 林道橋のPCB廃棄物調査業務委託の内容は。木望の森づくり課長 50年以前の橋桁塗装にPCBが含まれているかの調査委託。佐野議員 成人式記念品委託料の中身は。副町長 ウッドラボでやったことのない池田の広葉樹を使った時計作りに挑戦した。デザイン設計や、細部の加工を各分野のプロに委託しながら製作していった。清水議員 今回のデザインの著作権は。副町長 著作権はデザイン委託した業者にある。



岡村 祐 議員

山の整備について

問 小規模や補助外の山林整備について、山主自らが意欲をもって山林整備ができるよう、森林環境譲与税を活用した補助事業を展開する予定はあるか。

答 木望の森づくり課長 森林経営計画が策定されている小規模の森林整備については、「森林・山村多面的機能発揮策交付金事業」がある。

森林環境譲与税を活用した補助制度は、既存事業の精査を行いながら、来年度に向け適切な森林保全が行えるような制度設計を検討する。

米政策について

問 来年度から「未来へ耕す池田米」に移行される米づくりについて、池田の誇れる農業政策としての期待が寄せられる。改めて事業の主旨と概要の説明を求めます。

答 農村政策課長 池田の米は美味しいというイメージのみが独り歩きしている現状を見直し、品質、安全性に対する生産者の取り組みを見える形で証明していく。「生産過程における新たな認証制度の創設」「農業技術の向上・普及と人づくり」「品質・食味値および土壌分析調査・気象情報等のデータベース化と分析」「生態系保全や環境保全に資する事業促進」「消費者への販売・交流事業の展開」を取組む。

このプロジェクトが、未来の池田町を耕すこととなるよう理解をお願いしたい。



清水 龍司 議員

選択的夫婦別姓制度

問 日本では、選択的夫婦別姓は認められていない。日本が世界で最後の夫婦同姓制度の国といわれている。

現制度である夫婦同姓制度はデメリットが多く、選択的夫婦別姓制度の導入の声が高まっている。

この事について福井新聞の調査では県内の69%の市町が容認であったが、どのような見解をお持ちか。

答 町長 共同通信社のアンケートでは「どちらかといえ

ば認めるべき」と回答した。夫婦や家族のあり方、働き方の多様化から、姓名に対する価値観が変わりつつあり、選択の自由は検討されるべきとの見解です。しかし法的制度、制約に対する懸念や慎重な意見も多く、国会や国民的議論の深まりを期待したいと考えている。

危険道路の再確認と対策

問 冠山峠道路開通に伴い今までなかった場所でも事故も増加する中、より町民と協力し再確認と対策をお願いします。

答 町土整備課

町内道路の危険箇所の把握については、県、町の巡回パトロールや道路モニター、区長等の情報

提供を受け、道路施設の修繕対策を行い、安全確保を図っている。また、通学路危険箇所の情報提供を受け、保護者を含む学校、道路管理者、警察、行政で安全推進協議会を開催し、対応を行ってきた。



宇野 邦弘 議員

「義務教育学校」の検討は慎重にすべき

問 検討委員会の審議経過は、いつまでに検討結論を出すのか。結論を急がず、保護者の意見もよく聞き、慎重に判断するよう求めたい。

答 教育長

会議3回、滋賀県余呉小中での視察などを行なっている。また検討委員、中学校教員、子ども園職員が参加した専門家を

自衛隊員募集業務について

問 集団的自衛権の行使容認に続いて、「敵基地攻撃能力の保有」など競争する国に変えられようとしている。

そんな中で自治体が国の下請け機関として軍隊に人を送り込むための業務は拒否するように。

答 総務財政課長

地方自治法や自衛隊法でも自治体の協力を求めている。役場から紙媒体で18歳と22歳の名簿を自衛隊に渡し、自衛隊からパンフレットなどを送ってもらい、封筒に切手を貼って投函している。

「未来を耕す池田米」についても質問しました。

が、任期を終えた後はどのように考えているのか。

答 町長

引き続き町民の皆様のご支援を頂けるのなら、志の原点、初心に立ち、意を新たに次期町長選挙に挑みたい。

これまで、道路、観光、福祉などの概ねの整備は計られたが、これからは町の資源や財産を町民がいかん活用し、活躍するかの段階に入ったとの認識である。

「脳べるプロジェクト」、「教育大綱」、「100年の森プロジェクト」、「農業・米づくりプロジェクト」「いけだ農村観光の促進」「集落自治活動への援護」「脱炭素プロジェクト」など始まったばかりであり、町の将来を左右する重要な取り組みである。

これからは「町育て・人育て、子育て」において、町民と行政との協働連携の真価が問われる重大な時期を迎えていると感じている。

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。



丸石 純一 議員

問 事後的管理ではなく、予防保全管理によって施設の長期使用を図りたい言葉があるが、もうす

国より、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、財政負担を軽減、平準化するなどの方針が示され、平成28年度に、公共施設等の総合的、計画的な管理整備を図る上での方針として池田町公共施設等総合管理計画を策定した。問題意識を共有しながら、今後の公共施設等の管理更新を総合的、計画的に進めていくことに活用している。

問 本計画をなぜ策定したのか改め伺う。

池田町公共施設等総合管理計画

答 総務財政課長 10年を迎えるTPAでの修繕計画をどのように考えているのか。

答 農村政策課長 専門業者による点検を実施しており、その結果は管理者より報告を受け次年度の修繕計画を立てる。

ジップラインのワイヤーについては、使用頻度や使用条件により劣化の進行具合が変わるため劣化状態の数値基準を設けて、更新時期の見直しを行っている。なお、各部門で使用している安全上の基幹部品、備品は運営マニュアルに更新時期を定め、劣化の有無を問わず、町も予算化をして交換を行っている。

問 TPAという施設に今後何を期待しているか。

答 町長

施設で働くスタッフの方が森の魅力を伝えることができ、子供たち、若い人たちに好奇心を持ってもらう。そしてその山や植物が持っている力、魅力、そういったものをお伝えいただけ

一般質問 いっぱん しつもん



ば、池田町のリピーターになっていくと私は思っている。

施設の大小を経営の柱に据えるのではなく、そこで集って働いていた多く社員の方々と来客者との交流の出来次第が経営に反映されるものと思っております。我々もその点を十分理解していただけるように意見交換を進めていきたい。



佐野 和彦 議員

人口減少社会に對する考え方

問 人口減少により、これまでの地域の各行事や

活動、地域での暮らしへの影響を危惧せざる負えなくなつた。町民との連携による町づくりは、池田町は町外からも高い評価を受けていると思う。しかし、人口減少により、様々な活動の存続に不安を覚える。小さな町だからこそ、チームワークを活かし、更に池田町はいい町になれる。行政としては人口減少に対して、その対策や政策はどう考えるのか。

答 町長

人口減少や高齢化は、集落の維持機能や、地域の相互扶助機能にも影響が広まっている。同様に学校教育、環境保全、福祉、医療、山林保全、農業生産の現場にも課題が生じている。

しかし、池田町には人を守り、町を盛り立てよ

招いた学習会を開催した。10月には富山県南砺市視察予定。今後2年間かけて慎重に検討を進め結論を出すようにしたい。

自衛隊員募集業務について

問 集団的自衛権の行使容認に続いて、「敵基地攻撃能力の保有」など競争する国に変えられようとしている。

そんな中で自治体が国の下請け機関として軍隊に人を送り込むための業務は拒否するように。

答 総務財政課長

地方自治法や自衛隊法でも自治体の協力を求めている。役場から紙媒体で18歳と22歳の名簿を自衛隊に渡し、自衛隊からパンフレットなどを送ってもらい、封筒に切手を貼って投函している。

「未来を耕す池田米」についても質問しました。

が、任期を終えた後はどのように考えているのか。

答 町長

引き続き町民の皆様のご支援を頂けるのなら、志の原点、初心に立ち、意を新たに次期町長選挙に挑みたい。

これまで、道路、観光、福祉などの概ねの整備は計られたが、これからは町の資源や財産を町民がいかん活用し、活躍するかの段階に入ったとの認識である。

「脳べるプロジェクト」、「教育大綱」、「100年の森プロジェクト」、「農業・米づくりプロジェクト」「いけだ農村観光の促進」「集落自治活動への援護」「脱炭素プロジェクト」など始まったばかりであり、町の将来を左右する重要な取り組みである。

これからは「町育て・人育て、子育て」において、町民と行政との協働連携の真価が問われる重大な時期を迎えていると感じている。



■ 実施日 令和6年8月22日

岐阜県揖斐川町議会と池田町議会の行政交流会が、池田町で行われました。

交流会の内容は、全国的にも推進が求められている「地域自治」をテーマに「仕掛けを作って仕組みをのこす・水海のにぎわいづくりと水海川水力発電所」と題して、池田町水海地区での取り組みについてお話をお伺いしました。

はじめに、水海区民の方々が取りまとめた「水海区民の参考書」を基に、改めて地域の歴史や現状を理解し、区民全員が当事者意識をもって地域の将来を考える第一歩となることを期待しているとの説明を頂きました。

次に、地域づくりのための新たな取り組みである「水海川水力発電所」と地域活動との連携について説明を頂き、水力発電事業では売電収入の一部を集落機能の維持や「にぎわい」をうみだすことに活用していくという内容が盛り込まれており、参加議員からは地域自治の必要性と可能性について参考となる点が多いとのご意見をいただきました。



▲水海川小水力発電所(取水部)の視察



▲水海地区の地域振興について受講(ツドエルにて)

議長	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報特別委員会
宇野 一正	丸石 純一	富田 重弘	岡村 祐	清水 龍司	宇野 邦弘	
発行責任者						



編集後記

能登地方を襲った豪雨は、想像を超える被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

池田町でも、これまでに経験した水害や豪雪の経験から学び、これらの経験を活かした防災対策の強化が求められています。

特に、ご近所同士の連携、避難経路や情報伝達、正確な行動が課題となり、住民の皆様が迅速に避難できる体制を整えることが必要と考えます。

安心安全な暮らしに向けた議会活動に努めてまいります。

(清水龍司)